

流通業

駅構内を中心にコンビニエンスストアや飲食店、百貨店など多彩な店舗を運営するほか、ビジネスホテル「ヴィアイン」は西日本エリア内外でチェーン展開をしています。お客様の幅広いニーズに対応し、駅や地域の利便性向上を図っています。



物販飲食業

百貨店業

商品/サービス

コンビニ
土産

セブン-イレブン
ジャパン提携店舗 …… **432**店舗

ディベロッパー



エキマルシェ …… **3**店舗

飲食



主要店舗
デリカフェ …… **17**店舗
エスタシオンカフェ …… **7**店舗
からふね屋珈琲 …… **10**店舗
麵家 …… **20**店舗

ファッション
グッズ

主要店舗
エピソード …… **17**店舗
ガーランド オブ デュウ …… **7**店舗
ユニクロとの
業務提携店舗 …… **2**店舗

宿泊特化型
ホテル

既存 **24**施設※

新規開業 … 2022年11月ヴィアイン赤坂
2023年秋ヴィアイン札幌(仮称)〈北海道初進出〉

※施設数は2022年9月現在、他セグメントの施設も含みます

ジェイアール京都伊勢丹



開業
1997年
京都伊勢丹来店者数
1,400万人
(2021年度)

強み/差別化

駅・駅近好立地での事業展開

- 多種多様なお客様が行き交う駅や駅周辺を中心にさまざまな業種/店舗を展開
- ヴィアインは、全国主要都市のターミナル駅を中心に駅から徒歩5分圏内で展開
- ジェイアール京都伊勢丹は、西日本エリア随一のターミナル駅である京都駅や大阪駅の立地を活かし、広域からの集客力を誇る

運営ノウハウ

- 立地の特性を踏まえた、多様なニーズに対応する商品やサービスを企画・販売
- 駅構内での店舗運営ノウハウ(スピーディーな接客、狭小店舗での店づくり、安全性)

戦略

既存店舗の収益性向上

- 顧客ニーズに対応したMD変更により需要を獲得
- 運営体制の適正化・強化による店舗利益率の向上
- JR西日本グループや有力なフランチャイザーとの連携強化

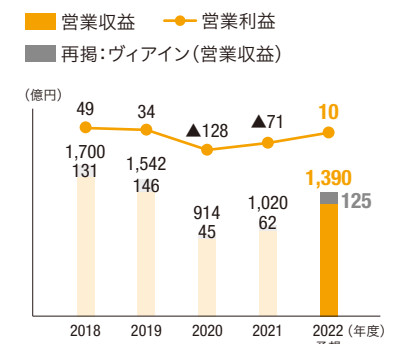
販路拡大の推進

- コンビニ・飲食店などの駅・市中への出店拡大
- 百貨店業では、オンライン事業や個人外商にも注力し、リアル店舗に限らずお客様に便利にお買い上げいただく接点の一つとして強化

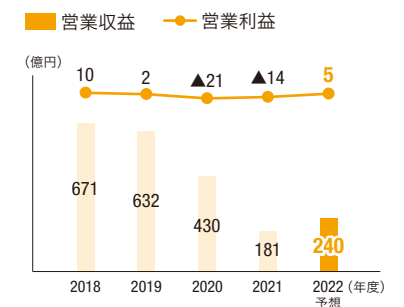
指標

経営状況

物販飲食業



百貨店業



※2021年度より「収益認識基準に関する会計基準」を適用しています。

TOPICS

顧客ニーズに対応したMD変更

エキマルシェ大阪リニューアル(Ⅰ期:2021年10月～、Ⅱ期:2022年7月～)

エキマルシェ大阪の開業から8年、初の大規模リニューアルを実施しました。行動変容やお客様ニーズを踏まえ、これまで服飾雑貨やアパレルなどに大きな店舗面積を割いていましたが、リニューアル後は食品テイクアウトや飲食に多くの面積を割いています。

また、館内動線や店舗配置の改善を行い、大阪駅を日常的にご利用されるお客様に短時間でもスピーディーにお買い物いただけるよう差別化をし、お客様の来館の高頻度化を狙います。



エキマルシェ大阪改札口の大型デジタルサイネージ